

Weekly コラム

令和 4 年 6 月 28 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

ネオンサイン

ロシアによるウクライナの本格的な侵攻が明らかになったのが、2月24日のこと。黒海沿いに位置するウクライナの都市オデッサは最大級の港湾都市ですが、そのオデッサで有名な企業がクライオインです。

クライオインは、半導体にパターンを刻み込むレーザーの動力源となるネオンガス(Ne)を製造している企業です。Neは空気中にごくわずかに含まれる不活性ガスですが、空気中からの抽出は効率が悪いので、ロシアが精製する鉄鋼の副産物としてできるそうです。

ロシアでできたガスをウクライナへパイプラインで送り、ウクライナで半導体グレード(半導体に適した品質)に精製して各地に輸出しています。ウクライナ産のNeのシェアは、世界の70%に上ります。他にもう一社のインガス社も含めて、Neガス精製会社2社が生産を停止しています。当初は短期的な問題として、既存の在庫で賄えるとのことで楽観視されていましたが、戦争は長期化・大規模化の様相を呈しており、クライオインからの供給が乱れることで世界中にさらに半導体不足の影響が及ぶこととなりそうです。ウクライナは、欧州各国や日本、韓国、中国、台湾などの企業にもNeを供給していますが、その大半は米国への出荷です。

半導体はコロナ禍が始まった2年前よりすでに供給不足の状況でしたが、今回のウクライナ侵攻により、半導体不足の解消はさらに遅れることになりそうです。2022年半ばの解消が見込まれていましたが、実際はいつになるか

全く予想がつかない状況となってしまいました。

ウクライナ侵攻による半導体への影響は、氷山のほんの一角に過ぎないでしょう。ウクライナの鉱山資源の生産は鉄鉱石とチタンが世界5位、農業国でもありますので、小麦が7位、トウモロコシや蕎麦が5位、ジャガイモ、カボチャが3位、ヒマワリの種が2位となっており、これらの供給が途絶える可能性が高くなっており、また目下、経済制裁が日々厳しくなっているロシアはさらに資源が豊富で、ニッケルやボーキサイトが3位、天然ガスや原油が2位、天然ダイヤモンドやパラジウムが1位となっております。すでに供給不足で価格に影響を与えている資源も多いですが、今後さらに厳しい状況になっていくことは想像に難くありません。このような状況がこれ以上継続していくようでは、広域経済や自由貿易に支障をきたし、さらなる物価高騰や不況を招くサインになるかもしれません。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。